

様式3 【物・文化財・風景など実体のあるもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開（可・否）

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野（ふりがな）	(分野) 蠟絞り	(ふりがな) ろうしぼり	
地域独特の呼び方			
タイトル	和ろうソク作り		
伝承地域	金山町		
由来（年代）	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで(いつまで) 伝えられてきたか) 会津地方では、漆の実から蠟を絞った。蠟と漆は会津藩の財政を支える重要な産物であり、漆蠟は年貢として専売制が取られていたが、明治以降衰退をたどり、和ろうソク作りも昭和 30 年代後半に途絶えた。		
内容	(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども) 金山町で続けられていた和ろうソク作りが昭和 30 年代後半に途絶えた後、金山町和ろうソク復古会が、平成 13 年から漆蠟絞りと和ろうソク作りの復元と継承に取り組んでいる。 和ろうソク作りは、7つの工程からなっている。 (1) 芯巻き ろうソクの燈芯を作る。芯巻串に和紙を巻き、さらに藺草を巻き全体を薄く真綿で絡める。 (2) 芯湿し 巻いた芯を、溶かした蠟に浸して芯を固める。 (3) 蠟掛け 溶かした蠟をろうブロの中で燈芯に薄く何度も掛け、徐々に太くする。 (4) 鉋削り ろうソクが一定の太さになったらよく乾かし、表面を鉋で削って滑らかにする。 (5) 水ごき 手のひらに蠟をつけて水に浸しろうソクをこする。これを何度か繰り返すと表面がしろくなり、滑らかになる。 (6) 口切り 小刀の先を温め、ろうソクの先を切り出し芯を出す。 (7) 尻切り ろうソクから串を抜き取り、一定の長さにして尻を切り取る。		
大きさ・材質	(大きさ：緑の文化財、巨木、建造物などスケールが情報として有用なもの。	(材質)	
文化財等の指定状況			
問い合わせ先	金山町教育委員会	電話	0241-54-5360

キーワード



卷芯



蠟を溶かす



蠟掛け



鉋削り



水ごき



口切り



完成したろうソク

【フリーフォーマット】※表面に記載した内容に関連したことを自由に記入してください。